

桐朋学園小学校

〒186-0004 東京都国立市中3-1-10 TEL 042-575-2231(代) <https://www.tohogakuen-e.ed.jp>
【交通】JR中央線国立駅、南武線谷保駅

【理事長】河原 勇人
【校長】原口 大助

緑豊かな自然環境で、伸び伸びと
した子供を育てたい！

桐朋学園の教育方針

○個性豊かで調和のとれた人間の育成

●基礎学力を充実させる ●心身を鍛える ●情操を培う

密度の濃い学習課程と豊かな学校行事

一貫した教育方針のもと、一人ひとりの子供を大切にじっくり育てていきます。
密度の濃い学習課程に、学校行事なども加えて、子供らしく、伸び伸びとした生活
の中から自ら学ぶ力を養うようにしています。

意欲と心身、情操を養う教育

基礎学力の充実●国語・社会・算数・理科(3、4年)などの基本教科は担任が受け持ち、理科(5、6年)、図工、音楽、習字、体育など専門教科は専科制にし、基礎学力の充実を図っています。思考力・想像力を養うもとなる意欲を大切にしています。観察力・表現力・構成力を必要とする日記の指導も行っています。毎日提出される日記は担任と児童の心の交流を豊かにし、きめの細かい指導に役立っています。

心身を鍛える●駅から15分を歩いて毎日通学しています。毎朝、体操やランニングをして、知らず知らずのうちに体力が鍛えられています。歩くことが主体の遠足、5年生の林間学校では天狗岳に登山しています。水泳は5月から10月まで学年に応じて指導され、6年生の臨海学校では遠泳を行っています。それらの体験を通して、目標を達成しようとする強い意志が養われていきます。

情操を培う●雄木林に囲まれた緑の環境の中で、砂場、木登り、アスレチックなどで遊びながら自然と触れ合っています。きゅうり、枝豆などの栽培や、うさぎ、にわとり、ヤギを育てながら生命の営みにふれ、優しさが養われていきます。四季の変化をスケッチし、美しいものに感動する心が培われていきます。5年生の1年生送りや児童会活動、クラブ活動などによって、学年を越えた友情が芽生えています。

上級学校に進むには

学校長の推薦により、桐朋中学校・桐朋女子中学校に進学が可能。

一人ひとりの心のすみずみにまで行きわたる教育を

桐朋学園小学校では「一人ひとりの心のすみずみにまで行きわたる教育を」という言葉を大切に、1年生から6年生まで、遅く、そして伸びやかに毎日を過ごしています。瑞々しい感性を持つ学童期において、本物に触れること、興味のあることに挑戦できる環境を何より大切にしている学校です。教員が設計に関わった本校舎、武蔵野の面影が残るみや林、ヤギやチャボ、うさぎのいる飼育小屋、こころの泉、桐の庭など、恵まれた環境を是非皆様にご覧いただきたいと存じます。



沿革

桐朋学園の前身は、昭和16年3月に設立された山水中学。同23年、新学制により、桐朋中学校、高等学校に改編。同26年、私立学校法の施行に伴って、学校法人桐朋学園となる。同33年に小学校を併設し、翌34年、第1学年から第3学年までの編成で開校する。

2025年度募集要項〔前年度〕

募集人員：男女68人

出願期間：10月1日0:00～10月3日23:59

＊インターネットによる出願。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

考査料：25,000円

選考日：11月5日～8日 ※詳細はHPでご確認ください

選考内容：言語・作業・行動など

合格発表：11月10日 午前9時（専用サイトで発表します）

【学費等】

○入学手続き時納入金

入学金：300,000円

○入学後納入

授業料：43,200円（月額）

教育環境整備費：16,350円（月額）

児童諸費：3,500円（月額）

PTA会費：12,800円（年額）

教材費：35,000円（年額）

併設中学進学状況

◆桐朋中学校（一）

◆桐朋女子中学校（一）

データパック

児童数：男子215人、女子212人

教員数：27人

25年度応募者数：男子456人、女子214人

合格者数：男女68人

【併設校】

○桐朋幼稚園

○桐朋中学校・高等学校

○桐朋女子中学校・高等学校

○桐朋学園芸術短期大学

○桐朋学園大学

○桐朋学園大学院大学